

あしたのために

令和7年12月17日
東京都立立川学園校長
市川 裕二

高等部職場実習紹介（タッチ部門）

今月号も、高等部普通科2年生と専攻科1年生の職場実習を紹介します。どんな職の会社で実習を行ったか、どんな目標をもって実習に取り組んでいたかなどぜひ読んでいただき、今後の進路に役立ててほしいと思います。

実習先職種	銀行関係の特例子会社
実習での目標	1. 職場および仕事がどのようなものかを知る。 2. 積極的にコミュニケーションをする。 3. 報告・連絡・相談をする。
実習内容	■データ入力の実習 ・エクセルにて、個人名＋生年月日、法人名＋設立年月日、個人名の異体字＋生年月日を、それぞれ時間を計って1回20問解く。それを印刷して指導員の方に提出。間違えた箇所の確認。 ・依頼書登録（実際の業務を元に練習用のに入力）：公的機関などから送られた口座の調査対象のリストが別の業務部でデータ（PDF）化される。そのデータから必要な情報を抜き出し、エクセルの専用の表に入力する。それを印刷して指導員の方に提出。 ■CUTE 業務 公的機関などから送られてきた調査対象の個人名（カタカナおよび漢字）などを元にその人の口座があるかなど詳細な情報を調べ、そのデータを専用の機械で印刷し提出。（実際の業務を元に練習用に入力）
実習で良かった点	仕事が丁寧にできた。 最初上手にできなかった仕事が途中でできるようになった。 遅刻・欠席・早退が無かった。
実習での課題	挨拶などの声が小さかった
実習での目標達成度	1. 職場および仕事がどのようなものかを知る。→できた 2. 積極的にコミュニケーションをする →質問などはできたがあいさつなどができてない 3. 報告・連絡・相談をする。→できた
今後の学校生活で頑張ること	挨拶ができるようになる。 今回や以前の実習先（計3回）を比べたりして行きたいところを現段階で考える。

今回も1名の実習を紹介しました。前回もそうでしたが、「コミュニケーションを自分から取る」「積極的に行動（質問）する」は実習ではとても大切になります。上記には書いてありませんが、「メモを取る」も大

切です。「メモを取る」ことは普段から実践してほしいことです。どういうタイミングでメモを取ればいいのか、分かりやすく書くためにはどんな工夫が必要かは、メモを取る練習が必要になります。全てがそうですが、いきなりやってできることはありません。日々の積み重ねが大切です。まずは、先生からの連絡をメモする練習をしてみましょう。メモだけではなく、他の2つもできているか、改めて振り返ってみましょう。

実習を終えての課題

11月号と今月号で、タッチ部門高等部普通科2年生と専攻科1年生の職場実習を紹介しました。実習を終えて、生徒たちが感じた課題は以下になります。

- ・コミュニケーションでは、相手に言葉を伝える力や日本語の力が不足していることを実感したこと。
- ・話を聞いているとき、すぐメモをとれず、終わった後メモを書くと、内容を忘れてしまい、また聞くことが多かった。
- ・説明を受けているときに、もっとリアクションを大きくしたほうがよかった。挨拶やお辞儀を日常生活でできるようにすること。
- ・自分は、大きな声で挨拶をしているつもりだけど、周りからは足りないと思われているかもしれない。
- ・ビジネス文章を正しく作れるようにする。
- ・文を伝える力と文を読み取る力が必要なこと。
- ・たくさんある仕事を効率良く進める工夫をすること。

実習を体験し、コミュニケーション能力の大切さ、メモを取るタイミングの難しさなどを感じることができます。普段の学校生活では手話でのコミュニケーションが多いため、メモを取る習慣はなく実習だから気付くことができる部分かと思います。

挨拶や基礎学力に関しても、通常の生活だけでは感じることはできないのではと思います。

やえ部門進路講演会③ 講演後のアンケートの質問にお答えします

質問：実習先についてどのように選び、実習先で実際どのように過ごすのですか。

回答：武蔵台学園の高等部では高1で短期就労体験（1～2日）、高2、3で現場実習（5日程度、年2回）を行う中で、自分に合った就労先を考えていきます。高3になると、実習先は、採用するかどうかを考えつつ実習生を見ていきます。

実習先では、スタッフさんの支援を受けつつ、実際の作業を行います。最終日までに、保護者と担任が実習先に赴き、実習先のスタッフの方と反省会を行います。

実習先は、本人及び保護者の希望を元に、学校が事業所に依頼をします。小中学部のうちから、通えそうなどどこにどんな事業所があるか情報をもっておくとういことです。1学期の保護者会で配布した「通所施設情報」を参考にしてください。もし、見学したい施設がありましたら、担任を通じて進路・キャリア支援部にお伝えください。